

3 - 5 群馬・栃木県境の地震活動 (1988年9月～1989年1月)

Seismic Activity near the Border of Gunma and Tochigi Prefectures (September, 1988 - January, 1989)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1988年9月11日ころから、群馬・栃木県境で有感を含む多数の地震が発生、この活動は1989年1月11日まで続いてほぼ終息した。この期間における震源決定地震数は138個、最大地震はM4.1(11月14日16時36分・最大震度2:日光)となった(第1図)。また、有感地震は10回、震度の最大は2(6回)、この観測結果は末尾に示した有感地震表のとおりである。第1図①のNWSは日光測候所、同図③のfは有感地震を意味する。また、②と③の地震は①の長方形(実線)内の地震に対応。

なお、余効とみられる活動が、これ以降も散発的にみられた。

この地域における活動域は、大別すると2つのブロックに分けられる(第2図)。そして、これらの地震の分布は、第2図①にみられるように、いずれも北東-南西方向に伸びる形となっており、今回の地震はブロック1における活動である。また、この2つのブロックの活動は、第2図②のそれぞれを対比。概観する限りでは、総じて相補的な対応関係を示しているようで興味深い。

なお、ブロック1では、昨年2月ころから活動がやや活発化しているが、2月11日16時36分のM3.1の地震では現地付近で有感となり、足尾線神戸駅では震度2、草木ダムでは震度1～2を観測したと報告があった。この地震は、今回の活動域の南側(密集域のほぼ南端)に発生したものである。

注1:1988年7月1日からの資料は暫定

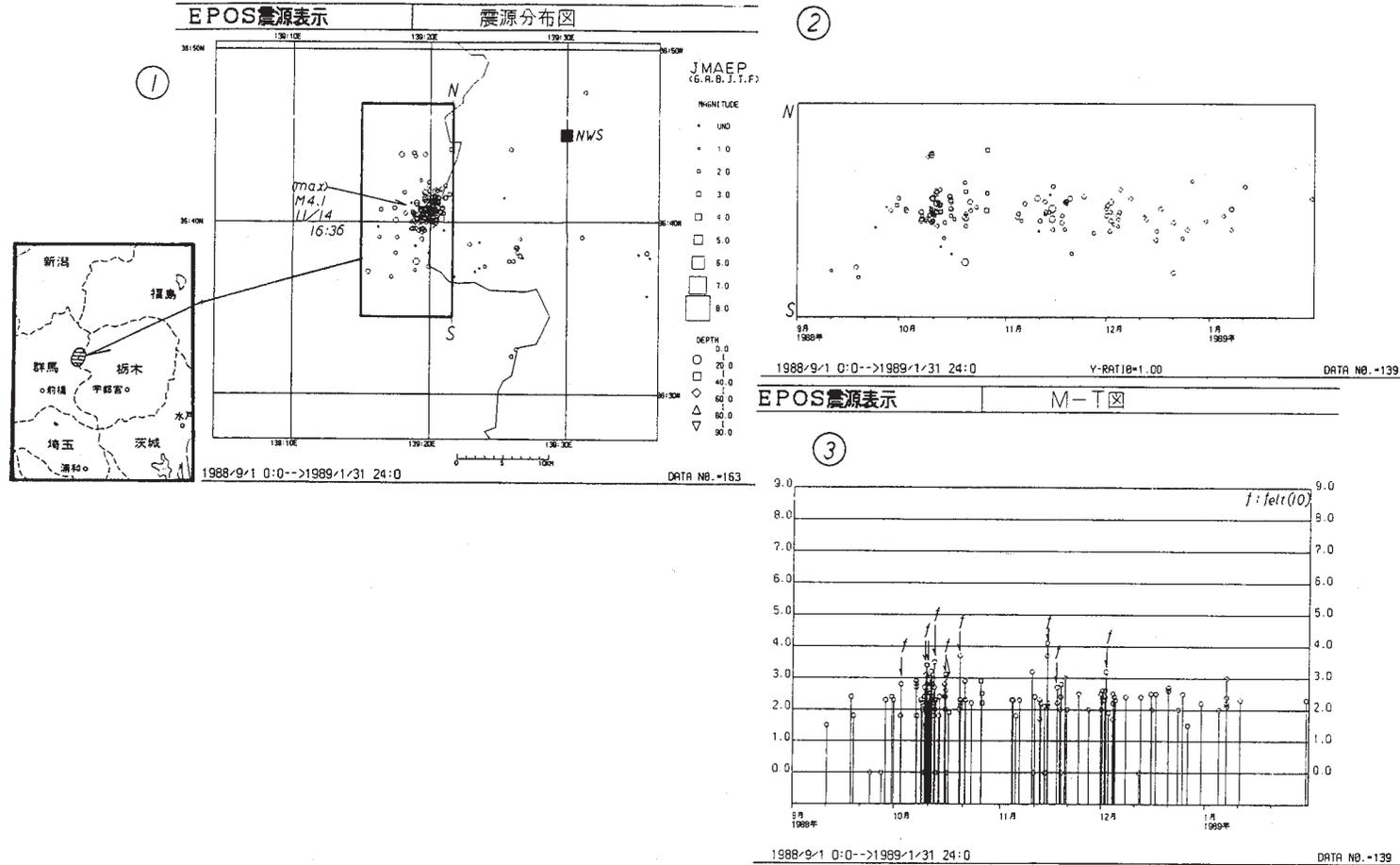
第1表 群馬・栃木県境の地震 —気象官署での有感地震表—
(1988年9月11日～1989年1月11日)

Table 1 List of earthquakes felt at weather stations and their intensities (Sep. 11, 1988 - Jan. 11, 1989)

月 日 時分	各地の震度
10 2 2320	II:日光
10 0759	I:日光
10 1319	II:日光
12 1528	II:日光
15 2113	II:日光
15 2247	I:日光
20 0212	II:日光, I:柿岡
11 14 1636	II:日光, I:熊谷・水戸・前橋・柿岡
17 1437	I:日光
12 2 0935	I:日光

群馬栃木県境の地震活動

1988.9.11 →

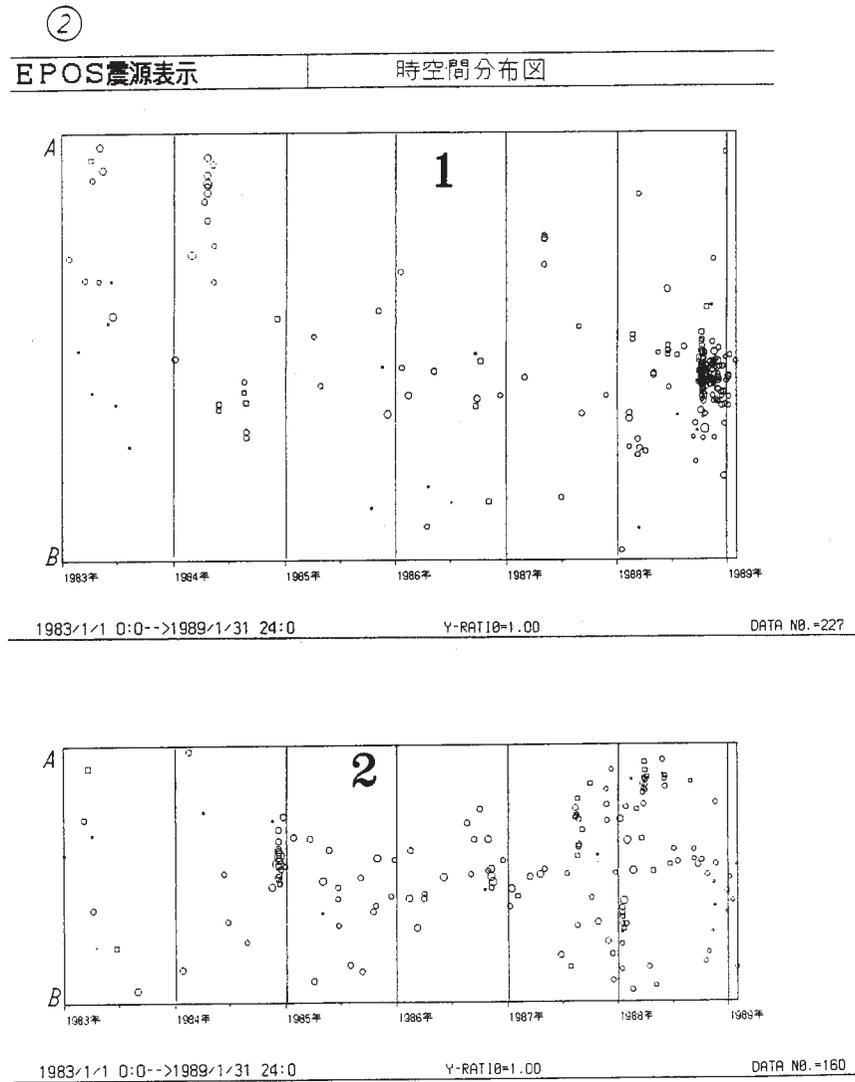
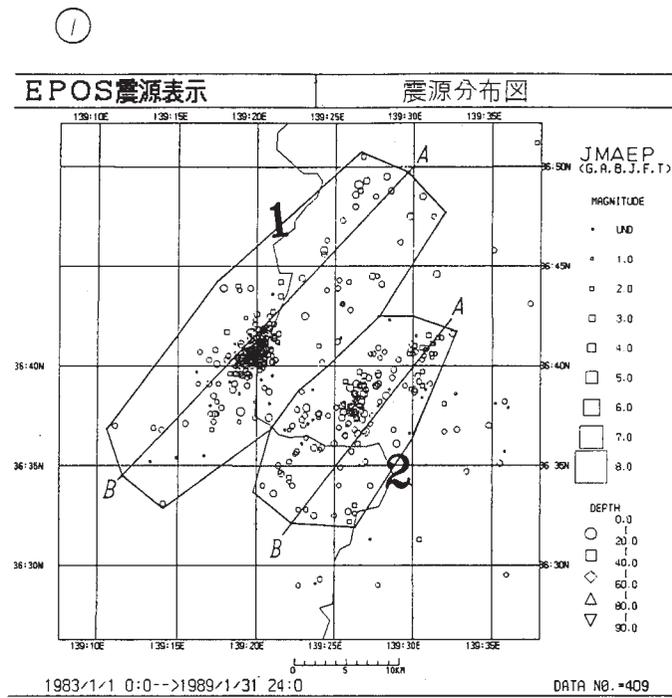


第1図 群馬・栃木県境の地震活動 (1988年9月1日～1989年1月31日)

①：震央分布, ②：時空間分布, ③：M - T図

Fig. 1 Seismic activity near the border of Gunma and Tochigi Pref. (Sep. 1 1988 - Jan. 31, 1989).

①：Epicentral distribution, ②：Space-time plot, ③：M-T diagram.



第2図 群馬・栃木県境の地震活動（1983年1月1日～1989年1月31日）
 ①：震央分布，②：時空間分布

Fig. 2 Seismic activity near the border of Gunma and Tochigi Pref. (Jan. 1, 1983 - Jan. 31, 1989).
 ①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot.